

10. 成績評価について

(1) 成績評価

成績は学期科目については各学期末（通年科目については学年末）に登録されている全授業科目に対して 100 点を満点とする採点表によって与えられる。60 点以上を合格とし、59 点以下は不合格とする。

GPA 制度について

学生への履修指導を充実させるために GPA 制度を導入している。

GPA (Grade Point Average) 制度とは、成績評価に対しそれぞれにポイントを定め、1 単位あたりの成績平均点数を示したものである。

GPA の計算式においては、後述のように不合格を含むすべての登録単位数が分母となる。したがって、不合格が多いと GPA の値が低くなることに注意すること。

① 成績評価の基準及び 100 点法の目安は、以下の通りである。

合 否	100 点法の目安	評 価 基 準	GPA の ポイント
合 格	100～90	特に優れた成績である。	4
	89～80	優れた成績である。	3
	79～70	妥当と認められる成績である。	2
	69～60	合格と認められる最低限度の成績である。	1
	P	100 点法では評価できない科目の合格。	除外
不 合 格	59～0	合格と認められるに足る成績ではなかった。	0
	F	評価不能のため不合格。	

② 上記の成績評価に対し、次の方法で GPA を算出する（小数点以下第二位を四捨五入）。

$$\frac{\begin{array}{|c|} \hline 4 \text{ ポイント} \\ \text{に相当する} \\ \text{授業科目の} \\ \text{単位数} \\ \hline \end{array} \times 4 + \begin{array}{|c|} \hline 3 \text{ ポイント} \\ \text{に相当する} \\ \text{授業科目の} \\ \text{単位数} \\ \hline \end{array} \times 3 + \begin{array}{|c|} \hline 2 \text{ ポイント} \\ \text{に相当する} \\ \text{授業科目の} \\ \text{単位数} \\ \hline \end{array} \times 2 + \begin{array}{|c|} \hline 1 \text{ ポイント} \\ \text{に相当する} \\ \text{授業科目の} \\ \text{単位数} \\ \hline \end{array} \times 1}{\text{登録単位数 (不合格科目を含む)}}$$

③ GPA は最新「学期 GPA」及び入学以来の「通算 GPA」を算出する。

④ 次の授業科目の単位は、GPA 算出の対象外とする。

- 1) A、B、C、D で評価される授業科目。
- 2) P で評価される授業科目。
- 3) 単位認定された授業科目。

※「学修便覧／開講科目表」より一部抜粋

なお、不合格となった授業科目の登録単位数については再履修し単位を修得しても取り消されることはなく、登録単位数として GPA 計算式の分母に含まれる。

- ⑤ GPA は成績通知書に付記して学生に通知する。

(2) 評価基準

- ① 授業担当者によって、成績は平常成績と定期試験成績を総合して評価される。

- ② 以下の授業科目の成績は、A、B、C、D の 4 段階で評価する。

その基準は A : 80 点以上、B : 70~79 点、C : 60~69 点、D : 59 点以下である。

日本語教育実習、中期英語留学 I・II、中期海外研修 I・II、春期・夏期語学研修、キャリアプロフィール、インターンシップ I : A・B、インターンシップ II : A・B、Leadership and Career Design (リーダーシップとキャリアデザイン)、Field Study A (海外実地研修 A)、Field Study B (海外実地研修 B)

- ③ 技能検定等により単位を取得した授業科目については、成績評価は行わず、P (合格) と表示する。